

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	老人福祉施設建設事業			
予算科目	3 款 1 項 10 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実			
所管課情報	担当課: 庁舎建設課		電話番号(内線): 582	
記入者情報	所属長: 武智 年哉		担当責任者: 久田 達夫	
実施期間	【開始年度】平成 25 年度 【開始年度】平成27年度			
事業の対象	市民			
事業の必要性	現施設が老朽化や耐震性・バリアフリーの問題により、サービスの提供に支障を来しており、生涯学習や文化活動等、人々との交流の拠点となる施設の整備が必要であるため。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負		【施工場所】 伊予市下吾川	
運営方法	【運営方法】 指定管理		【運営費(予定)】	
事業の目的	高齢者が生きがいをもち、積極的に社会参加することを促進するため、生涯学習・文化活動等、多くの人々との交流の場を整備し、充実した高齢期の確立と社会参加を促す。			
事業の内容	木造平屋建て 延床面積:609㎡ 老人福祉センター :集いの場・教養娯楽室・大集会室・相談室 デイサービスセンター:機能回復訓練室・浴室			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	昨年度繰越分の速やかな進捗及び早期の工事発注			
改善策の 具体的 取り組み	進入道路の幅幅について、できうかぎり早期の関係課、愛媛県との協議実施			

事業費及び財源内訳					
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	40	142,936	0	56,771
	人件費	3,254	3,181	0	3,181
	合計	0	146,117	0	59,952
人件費 内訳	人工数	0.40	0.40	0.00	0.40
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	3,254	3,181	0	3,181
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	142,300	0	56,100
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,294	3,817	0	3,852

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
調査・設計		11,492					
施設建設		54,700	174,940				
年度別事業費	39	68,261	198,115				
財源	国・県支出金						
	地方債		56,100	181,800			
	その他		10,000	16,000			
	一般財源	39	2,161	315			
国・県支出金等名称	過疎債・建設計画推進基金繰入金						

成果指標				
成果指標	事業進捗率(事業費)経過年度進捗÷全体×100			
指標設定の考え方	実施スケジュールに基づき工程管理を行い、目標年度での完成を目指す。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目標	0	-	-	100
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	昨年度繰越分及び現年度予定事業の速やかな進捗を図ったが、当初目標より2ヶ月程度の工程の遅れがあるため、施設利用者の利便を考え合わせ、施設稼働時期を早める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	老人福祉施設新築建設工事地元説明会を1月上旬に開催し、地元住民の皆様から各種、ご意見を頂いた。工事遵守事項については、作業時間帯、特定建設作業機械の道路使用方法、安全対策などについて説明を行い、理解を得ることができたと考えている。懸案事項として、前面市道の幅員が狭隘で車両通行に難渋していることから、4.6mに拡幅を計画することとしている。既設の伊予農高駐車場の再配置計画、射撃練習場の新築などについて県教委との交渉を鋭意進め、27年度において用地取得、物件移転補償について合意、契約をしていくこととする。今後は、工程管理を適正に行い、労働災害防止対策を総合的かつ計画的に進め事故防止・絶滅に向けて積極的に取り組むこととする。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・施設を造ったからといって人が集まるとか運営がうまくいくのではない。建物が悪くても、あそこに行けば何かあるとか、みんなとの交流が深まるとか、もっと自分の勉強ができるであるとか、そういうソフトが重要だと思う。・箱物はやってはいけないと思う。どこから財源を引っ張ってくるか、自主財源を生み出す方策を考えていただきたい。・障害が前面の道路とあるのだが、事業としてはスムーズにいくと思う。早期に建築完成していただきたい。・完成後の移動し始めた段階で、今までより使いやすいなど、利用者の反応の偽らざるところを取って、住民感情も含めて聴取しておいていただければと思う。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>事業の休止、廃止を検討する。</p>
<p>意見、課題</p>	